

Marpを使ってスライドを作る方法

目次

- Marpについて
- Marpの基本設定
- Marpの基本書式
- Markdownの書式

Marpってなに？

Markdownからスライドを作成してくれるツール

原本はMarkdownで記載できるため、Git等のコード管理が可能

全スライドに適用する書式設定(futterやheader等)や個別スライドに書式設定が可能

独自のCSSをあてることも可能(参照3)

参照1 : https://qiita.com/tomo_makes/items/aafae4021986553ae1d8

参照2 : <https://tracpath.com/works/development/marp/>

参照3 : <https://techblog.istyle.co.jp/archives/6356>

基本設定1

Markdownの最初に以下を記載するとMarpが有効化される

```
---  
marp: true  
---
```

この中にheaderやfooterが設定可能

```
header: "Marpを使ってスライドを作る方法" # header設定  
footer: "by @nnydtmg © 2022"             # footer設定  
paginate: true                             # ページ番号表示設定
```

基本設定2

全スライドへの設定方法として以下もOK

```
<!-- headingDivider: 1 -->
```

※これは#(h1タグ)があると新スライドと認識する設定(詳しくは後ほど)

基本設定3

他にもCSSの設定も可能

```
<style>
  h1{
    position: absolute;
    left: 50px; top: 100px;
  }
</style>
```

※h1タグの位置を決めている

基本書式1

ページの構成は以下の通り

```
# タイトル1  
1ページ目文章1  
---  
# タイトル2  
2ページ目文章  
---
```

※この---については、基本設定2の設定をしていると不要になる